



嘉倉 たくし

治 おさむ



災害に備えた避難所運営の構築を

Q 小中学校体育館へのエアコン設置は、全国的な流れとなっている。設置費やランニングコストの面でも、国・都の補助金の動向を踏まえ、積極的に取り組むべきだと考えるが。

A (課長) 施設管理者の責務として、公共施設における熱中症対策は喫緊の課題であると捉え、児童生徒の学びの環境整備、町民が安全安心に利用できる避難所など総合的な視点から、令和7年度予算に計上させていただいた。関連予算の計上で具体的にどのように反映されているのか。

A (課長) ガス方式と電気方式の両方を取り入れた空調設備を予定している。契約は賃貸借によるリース方式で準備を進めている。

Q 災害時に大いに役に立つ「トイレトレーラー」は時代の要請と考える。維持費

を考慮したとしても町内外で活躍貢献できるツールとして、是非購入するべきと考えるが。

A (課長) 約2600万円と非常に高価である。保管場所の確保や車検等の維持費、道路陥没崩壊が発生する事態では移動困難であることなど予想されるため研究していく。

Q 「トイレトレーラー」は人命尊重の観点からも、他地域での災害時に派遣ができて、町のイベントにも活用出来る。町の見解は。



なわい きよこ
縄井 貴代子



町の公共交通について

Q 今後の町の公共交通の在り方は。

A (課長) 高齢者への「外出支援バス」・障がい者への「おでかけ支援ドリームカー」・交通空白地を解消する「ぐるりんひのでちゃん」の維持に努めていく。

Q 「ぐるりんひのでちゃん」の武蔵引田駅への乗り入れ計画状況は。

A (課長) あきる野市へ要望中。同市の区画整理事業において、当町との協議が必要な幾つかの案件の一部にとどまっている。

Q 新たな移動手段が求められている。地域公共交通会議において支援の必要性を議論し、よりよい地域公共交通整備を求める。

町の防犯対策について

Q 東京都の補助事業を活用し、個人住宅の防犯対策(防犯カメラ・カメラ付きインターフォン・窓ガラス用防犯フィルムなど)購入費の助成事業の推進を求める。

A (課長) 都からの詳細な資料提供があり次第、実施に向けて準備を進める。

Q 防犯カメラを自治会等と共同で設置できる東京都補助金の活用を求める。

A (課長) 対象となる補助金の要件に治安対策上特に問題の多い地域・安心安全まちづくりの推進が必要な地域とあり、選定が難しいため活用実績がない。

